

英字 KLMNO M

M1 アストレイ

機体名	M1 アストレイ	画像
型式番号	MBF-M1	
英語名	M1 ASTRAY	
所属	オーブ	
パイロット	アサギ・コードウェルジュリ・ウー・ニエンマ ユラ・ラバツカノウキクチジャン・キャリー (専用カラー) 他	
装甲材質		
装備	71 式ビームライフル (高エネルギービームライフル) 75 ミリ対空自動バルカン砲塔システム <イーゲルシュテルン> × 270 式ビームサーベル × 2 シールド	
作品名	機動戦士ガンダム SEED	
参考書籍	ガンダム SEED & アストレイモデリングマニュアル Vol.1 ガンダム SEED カードダス FINAL MS-75PS2 機動戦士ガンダム SEED 終わらない 明日へユニットビューアー	

内容

中立国オーブが自国の主権を「護る」ために本国のモルゲンレーテ本社にて開発された MS。オーブのコロニーであるヘリオポリスにて極秘に開発されていた MBF-P01 ~ P03 のデータをもとに、量産化に適した構成にリファインされている。

本国の防衛を想定し、大気圏内での機動性を向上させているため、背部に大型のブースターユニットを装着しているのがプロトタイプとの形状上の相違といえよう。

武装は頭部イーゲルシュテルン 2 門、ビームライフル、ビームサーベル 2 振り。

OS の開発が遅れていたため、満身に性能を発揮することができないでいたが、キラ・ヤマト少尉の強力により最適化に成功、ついにその真の力を発揮するようになっていく。

ジェネシス攻防戦でも大量投入されている。

が、アサギ・コードウェル、ジュリ・ウー・ニエン、マユラ・ラバツの女性パイロット 3 名はその際に戦死、還らぬ人となってしまっている。

■ PS2 終わらない明日へ

3 機のアストレイのデータを基に、オーブ本国で開発された量産機。

量産化に対応するために各部構造が簡略化されており、大気圏内での運用を前提として背部フライトユニットを標準装備。

ストライクの OS を改良したキラ・ヤマトの技術協力を得て、ナチュラルへの対応に成功した。

備考

スペック

項目	内容
全高	17.53 m
頭頂高	
全長	
本体重量	
重量	53.5 t
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	